



目次

創刊にあたって／6月定例議会	2
議決結果	3
一般質問 Q & A	4
議会構成	9
委員会	10
議会運営・定例議会の流れ	11
会派別構成／9月定例議会日程	12

# 創刊にあたって



議長

飛田 静幸

この度、3月議会において多くの議員にご推挙され議長を就任させていただき、その重責と使命の重大さを痛感するとともに、微力ながら最善を尽くして職務の遂行に邁進いたすべく心を新たにしているところでございます。

顧みますと平成12年1月に皆様方の絶大なお力添えにより議会上に送っていただきまして以来10年が経ちますが、議長に就任できましたのも、皆様方の常日頃変わらぬご支援・ご協力の賜物でありまして、あらためて厚くお礼申し上げます。ご支援を賜り、あらためて厚くお礼申し上げます。

議会としての説明責任を果たす上において、さまざまな形で積極的な情報発信を行ってまいります。

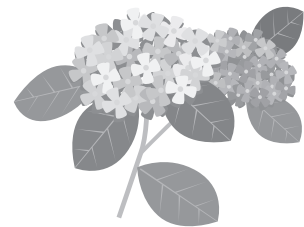
す。その一環として本号を創刊号として年4回議会だよりを発行する運びとなりました。

議会だよりの発行に際しましては、議会内に編集委員会を組織し議員自らが紙面づくりを行うことを基本に、できるだけ議会の動きが住民の皆様にご理解いただけるものになるよう心掛けてまいります。

今日の地方分権が進展する中、住民が安心して暮らせるまちづくりをするためには、行政と我々議会の果たす役割はより重要になってきております。今後とも住民本位の村政と開かれた議会を目指してまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。「議会だより」創刊のご挨拶といたします。

## 6月定例議会

### 村立東海病院の婦人科設置に伴う関係条例、図書館増改築工事の契約締結等を可決



東海村定例議会が6月1日に開会し、8日から10日まで一般質問、15日に議案審議の日程で行われました。その主な内容は次のとおりです。

#### ●村長提出議案等

「平成21年度東海村一般会計継続費繰越計算書」等の報告関係5件、条例の一部改正の専決処分の承認関係5件、村立東海病院に婦人科を設置することに伴う関係条例の整備に関する条例等の条例関係4件、一般会計補正予算等の補正予算3件、図書館増改築工事等の工事請負契約の締結2件、

高規格救急車の購入契約の締結、東海村研究交流プラザの指定管理者の指定等が上程され、すべて承認・可決しました。

#### ●議会提出議案

円滑な議会運営を図るために議会運営委員会の委員8人を9人に改正する議会委員会条例の一部を改正する条例を上程し、可決しました。

※6月定例議会の録画映像が、東海村議会ホームページでご覧になれます。

## 6月定例議会 議決結果

### 村長提出議案等

議案番号	件名	議決の結果
報告 第1号	平成21年度東海村一般会計継続費繰越計算書	報告のとおり
報告 第2号	平成21年度東海村一般会計繰越明許費繰越計算書	報告のとおり
報告 第3号	平成21年度水戸・勝田都市計画事業東海駅西第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書	報告のとおり
報告 第4号	平成21年度水戸・勝田都市計画事業東海中央土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書	報告のとおり
報告 第5号	平成21年度水戸・勝田都市計画事業東海村公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	報告のとおり
承認 第1号	専決処分の承認を求めることについて（東海村税条例の一部を改正する条例）	原案承認
承認 第2号	専決処分の承認を求めることについて（東海村都市計画税条例の一部を改正する条例）	原案承認
承認 第3号	専決処分の承認を求めることについて（東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	原案承認
承認 第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成21年度東海村一般会計補正予算（第7号））	原案承認
承認 第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成22年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号））	原案承認
議案 第39号	国家公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案 第40号	東海村国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第41号	東海村村立東海病院に婦人科を設置することに伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案 第42号	消防組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案 第43号	指定管理者の指定について（東海村研究交流プラザ）	原案可決
議案 第44号	村道路線の認定について	原案可決
議案 第45号	平成22年度東海村一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案 第46号	平成22年度東海村病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案 第47号	平成22年度東海村一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案 第48号	工事請負契約の締結について（村松小学校校舎外装改修工事）	原案可決
議案 第49号	工事請負契約の締結について（図書館増改築工事）	原案可決
議案 第50号	備品購入契約の締結について（高規格救急車1台）	原案可決

### 委員会提出議案

議案番号	件名	議決の結果
発委 第4号	東海村議会委員会条例の一部を改正する条例について	議会運営委員会提出 原案可決

### 請願・陳情

番号	件名	議決の結果
請願 第22-2号	保育制度の充実に関する意見書提出を求める請願書	文教厚生委員会付託 継続審査
請願 第22-3号	常陸川水門（逆水門）の柔軟運用を求める請願書	建設経済環境委員会付託 継続審査
陳情 第22-2号	永住外国人への地方参政権の付与に反対する意見書の提出を求める陳情書	議席配付
陳情 第22-3号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書	議席配付
陳情 第22-4号	人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出を求める陳情書	議席配付





第5次総合計画について

みらいの会 舛井 文夫 議員

**議員** 現在の進捗状況および課題、特に重視したいのは、社会生活の基盤となる都市計画で市街化調整区域が開発され、秩序あるまちづくりができないことを心配している。現在の都市計画を見直すことなく、30年後も十分なんだという認識のもとに、市街化区域と調整区域の線引きをどう考えているか伺います。

**理事兼企画政策部長** 23年度から10年計画で、平成20年12月より検討し、審議会や策定委員会で議論し、9月のパブリックコメントに向けて作業中です。

第9回目の会議では、取り組むべき課題を挙げて、例えば自立的な自治体運営の確立とか、環境重視の成熟社会への転換などについて議論しております。

また、各部会では行政の各分野別に基本目標や施策の議論の中で、組織横断的に取り組むべき課題が出てきました。例えば協働による共生を目指した地域力の向上もその一つであり、協働という概念では、自治の問題や教育の問題も含めて、組織横

断的に取り組んで計画の中に位置付けることで議論しております。

また、進行政管理体制についても、評価資料あるいは評価体制についての議論し、今回は特に外部評価を入れることで議論しました。

また、原子力に関しては「東海村を原子力センターにする懇談会」の意見を踏まえることとしました。懇談会に先立つ有識者会議を6月1日に立ち上げたばかりですが、有識者会議や懇談会の議論を踏まえて、原子力に関する考えを総合計画に反映させていきたい。

最後に都市計画関係ですが、非常に重要な問題だと審議会の中でも認識されており、市街化を図るべき市街化区域の中に未利用地がある一方で、本来市街化を抑制すべき区域に建物が建つという現状です。審議会の中で、市街化開発と自然保護の調和について議論しておりますが、答えは出ていませんが、問題意識を共有した上で、今後議論する必要があると考えております。



学童クラブについて

光風会 恵利 いつ 議員

**議員** 学童クラブは長い経験の上に運営されていますが、以前とは違い、時に定員オーバーで運営しなければならぬ現状です。今その運営方法を再検討する時期ではないかと考えます。公設民営を一気に公設公営に変更するというものではありません。子どもたち、働く親、指導員にとつて更によい体制とするため、行政側が中心となり、保護者会や指導員との意見交換の場を持ち、運営方法など改善できる点はないかを検討する必要があります。

**福祉部長** 学童保育は、昭和40年代から利用者自身が主体性を持つて運営にかかわり、地域に沿った保育サービスを提供してきました。現在、運営を指定管理者である各学童クラブ保護者の会に委託をする公設民営の形態をとっています。公設民営は利用者のニーズを的確に把握し、柔軟な運営が行え、また各学童クラブの独自性や特色を生かせる面があると思います。村としては積極的にその運営に関与するのではなく、側面から支援に努めたいと考え

ています。そのため保護者の会や指導員と意見交換を行い、現場の声の収集に努め、必要に応じた助言等を行っていきたくと考えています。

**議員** 今後希望者が増えた場合はどのように対応するのか伺います。

**福祉部長** 現在、公設民営が6、民設民営が3、計9施設の学童クラブがあります。今年度新たに民設民営の学童クラブが開設される予定です。今後、待機児童が発生した場合には、受け入れ態勢等について検討していく必要があると考えています。



30周年を迎えた石神学童クラブ。村は、各学童クラブへ数百万円の助成をしています。

## 一般質問

**議員** 難病患者さんが自立して生きている実感を得るには、一人ひとりの状況を考慮したきめ細やかな支援が求められます。県・村の支援の現状、村独自の就労支援ならびに現行の医療費実費助成から全員対象の見舞金制度への移行について考え方を伺います。

**福祉部長** 県では特定疾患治療研究事業対象の56疾患に所応に於じた医療費助成を、また保健所、難病センターや筑波大学附属病院での難病相談にに応じています。

村は独自に特定疾患、関節リウマチと精神の治療をされている方に月額4000円を限度に医療費助成や、在宅患者のホームヘルプサービス、生活用具給付、ショートステイ、通院時タクシー利用料への助成を実施しています。

また現在、東海村障害者自立支援協議会の就労部会で、障がい者の就労支援に関し村独自の支援を含め、議論、討議を重ねています。難病の方の中には障がいをお持ちの方もおられ、就労の場の創出が重要な課題



### 難病患者支援の拡充、特に就労支援の重視について

日本共産党 大名 美恵子 議員

であると認識しています。個別相談も対応の中で、どのような支援が可能か検討していきたいと考えています。

医療費実費助成は、長期治療で身体的負担の大きい方への支援が目的です。年々利用者が増加しており、当面は現在の支給方法を継続していきたいと考えています。

**議員** 就労支援は、相談だけでなく体調に合わせて実際に働ける場の確保が求められています。仮に民間事業所と村との間で協議し、村の支援も図りながら何件か確保する、また村独自に雇用を検討するなど患者の生きることにそのものへの支援として求められています。村民生活を重視した本村ならではの発想が重要です。

**福祉部長** 自立支援協議会の就労部会で、相談を受けた中で検討の材料として進めていきたいと考えています。



### 旧白方小学校について

新和とうかい 河野 健一 議員

**議員** 旧白方小学校解体後の跡地利用、および今後のスケジュールを伺います。

**理事兼企画政策部長** 跡地利用については、整備方針をまとめています。耐震性の観点からすべてを解体した上で、一時的貯留施設を整備し、公園を整備していくという方針です。スケジュールについては今年度校舎の解体工事を予定しています。

**議員** 今年度の解体ということで、間もなく工事が始まることと思いますが、残されている卒業記念作品やタイムカプセルなどの取り扱いについて伺います。

**教育次長** 教育委員会では新校舎への引越の際に学校と協議し、取り外す際に壊れてしまうような移設が困難なものと、原型を変えずに移設できるものを選別いたしました。その上で移設できなかったものは写真撮影による記録保存をいたします。タイムカプセルにつきましては、関係者の代表の方が解体前に掘り起こすと聞いております。また、移設困難と判断したの中には、

卒業生の思い出が詰まった記念作品もあることは承知しておりますが、やむを得ずこのような判断をしたことをご理解いただきたいと思えます。

**議員** 確かに、残されている卒業記念作品については校舎の壁に埋め込んであったり、外にあるレンガの花壇であったりと移設が困難であるということは私も確認して分かりました。しかし、卒業生の中にはもう一度自分が通った校舎や記念作品を見てみたいという意見や、校舎を惜しみ何かイベントなどを行ってはどうかという話も出てくるようなので、解体前に学校開放を行ってはどうかと思えますが考えを伺います。

**教育次長** 現在、電気、水道などが全部止まっています。そのような状況なので幾つかの制約があると思いますが、卒業生の皆様、地域の皆様との間で気運が高まり、実現できる情勢が整った場合には教育委員会としても何らかの協力はしていきたいと思えます。

※8月14日(土)、旧白方小学校が一般開放されることとなりました。





国内原発の定期点検について

光風会 豊島 寛一 議員

**議員** 点検は安心の担保のはず、何よりも安全が基本の原発が、さまざまな点検がまかり通っていたことに非常に驚きを隠せない。点検状況をチェックすべき検査官も、これを見過ごしていたこと。私は常々、点検にはダブルチェックは当然ですが、ダブルチェックでも足りない、スクランブルチェックでも足りないと思っている。基本となる点検が手薄になっていたとしか思えない。徹底的に調査して責任の所在を明確にすべきである。老朽化が進む中で高経年化で長期運転に向けているということも、納得いかない面もございませぬし、点検間隔を延ばすところではないのではないかと。点検というところ、発電所の健康診断であって、改ざんするということは、カルテを改ざんするということになります。企業でいうと儲けがないのに儲けがあるようにした、粉飾決算する会社を信じてくれというほうが無理だろうと思います。点検はそのありのままに提出するのが点検であるべき。

経済環境部長 検査のあり方に関

する検討を重ね、平成21年1月から原子力発電所の安全性の向上を目的として新しい検査制度を導入しております。事業者が運転中の機器の状態、監視計画や運転終了後の機器の状態を踏まえた点検の改善プロセスについて保全計画に転載することになっております。過去のトラブルや高経年化を踏まえた保全計画の策定と継続的な改善を義務付け、また運用可能な新技術を用いた運転中の検査を義務付け、その実施状況等を確認、検査するというもので原子力安全の高度化、実用化のために国の関与を強化したものでございます。これまで一律13カ月を超えないことが義務付けられておりましたが、定期検査の間隔につきましては、日常の保全活動を充実させることにより、技術情報の蓄積が図られ、点検方法や点検間隔、頻度の設定が改善されたことから、13カ月以内、18カ月以内、24カ月以内の3つの区分について科学的、合理性根拠に基づく間隔を設定することが可能となります。



女性と小児の生命を守るワクチンの公費助成と定期接種化を、問う

公明党 岡崎 悟 議員

**議員** 公明党議員団は本年2月に、子宮頸がん予防ワクチンの公費助成と定期接種化、および、小児の細菌性髄膜炎予防に有効な、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの公費助成と定期接種化を求める要望書を、村上達也村長に提出しました。その後、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンへの公費助成と定期接種化への取り組みについて、どのように検討されたのか、伺います。

**福祉部長** 子宮頸がん予防ワクチンの助成は、実施する方向で検討しています。また、子宮頸がんの正しい知識やワクチン接種の必要性に関する啓発も重要です。このワクチンは合計3回の接種が必要で、接種終了まで半年を要します。このことから、実施時期や実施方法、接種対象者の絞り込み、啓発方法など検討しています。また、定期接種化されていないヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンについては、国や県が統一的に対応すべきものと考えています。しかし、早期に定期接種化は困

難なため、これらの接種効果が期待できるワクチンについては、村独自に、定期接種化されるまでの間、助成を実施できればと考えています。また、予防接種は、保護者が基本的な知識を習得し、効果や副反応について十分に理解した上で納得し、接種を受けることが重要です。今後は啓発活動にも、更に力を入れていきます。

**議員** 実施する方向で検討ということで、大きく前に進みました。村長の今の思いを、伺います。  
**村長** 効果はつきりしているものを、国が何ら手をつけないでいたことと自体、残念だと思えます。村独自の判断で、国・県を誘っていくことが必要だと思えます。その観点から、岡崎議員提案の子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて、前向きに福祉部長答弁の方向でやっていきたいと思っております。



## 一般質問



### 国道245号拡幅に伴う 阿漕ヶ浦公園等の駐車場確保について

みらいの会 高橋 昭 議員

**議員** 国道245号拡幅工事に伴い阿漕ヶ浦公園およびさわやかトイレ周辺の駐車場が減少し、阿漕ヶ浦公園で開催する花火大会・さくらまつり等のイベントや正月の虚空蔵尊等の参詣には相当数の利用が想定されるため、新たな駐車場を確保する必要があると考えます。

現在のさわやかトイレ周辺は緑地保全からもこれ以上の拡張はできません。そのため阿漕ヶ浦公園の南側の村道を挟んだ中畑の多い地区を駐車場として確保する必要があると考えますが見解を伺います。

また、245号拡幅工事により、宿区の家屋移転に伴う代替地として茨城東病院（旧晴嵐荘病院）の官舎跡地を希望する場合は、仲介の労を取っていただきたいことを、お伺いいたします。

**建設水道部長** 国道245号の整備計画の概要ですが、旧サイクル機構より阿漕ヶ浦公園入口まで延長1100メートルであり、現道幅員12メートル2車線を、22メートル4車線に拡幅するものであります。

この工事に伴う阿漕ヶ浦公園およびさわやかトイレ周辺の駐車場が、それぞれ減少いたします。阿漕ヶ浦公園利用者ばかりでなく、さくらまつり、東海まつり花火大会等のイベントや、お寺・神社の正月や節分の参詣客の利用が多くありますので、観光拠点や地域活性化のため、駐車場が減少することについては拡張をすることで関係課と協議していきたいと考えます。

また、245号の拡幅工事のうち宿区については、用地測量も終わりに現在物件補償の調査をしております。工事も旧サイクル機構の交差点から始めていくとこのことです。地元説明会の際、地権者から代替地等の話題がありました。具体的な個別交渉に入るには調査が終わる秋頃になる予定であります。宿区の街づくりの観点からも、長年培われてきた地域コミュニティへの影響のないよう茨城東病院の官舎の跡地については、県の職員に同行して積極的に交渉をしていきたいと考えております。



### 地域公共交通のあり方を見直すべき

新和とうかい 越智 辰哉 議員

**議員** 東海駅から茨城東病院方面へのバス路線が、6月末をもって廃止されることが決まりましたが、路線廃止に至るまでの経過と村の考え方は？

**理事兼企画政策部長** 茨城交通より、平成21年3月に当該路線が不採算路線であるとして4月末での路線廃止の申し入れがあった。村としては、生活交通路線であることから、茨城交通に路線存続を求めるとともに、利用者の多い茨城東病院や原子力研究開発機構に対して路線存続の協力要請を行ってきたが、存続につながる提案が成されず、結果として6月末での廃止に至った。

当面は、路線廃止の影響を見極めながら、現状の「デマンドタクシー」

を核として、さらに使いやすいものに充実させていくことを考えている。

**議員** 「デマンドタクシー」はシステムの制約から車の台数をこれ以上増やせないと同っている。また、高齢化の急速な進展により、利用者が増加することが想定される。よって、早急に何らかの対策を講ずるべく、今後の地域公共交通のあり方を見直す必要があるのではないかと？

例えば、現行の「デマンドタクシー」を基本とし、デマンドの利用者の多い地区を結んで巡回バスを走らせれば、より多くの住民が利用できる新しいシステムが構築できるのではないかと？

**理事兼企画政策部長** 「デマンドタクシー」導入時にかなりの調査分析を実施しており、「ドア・ツー・ドア」形式のニーズが高かったことから、事業実施に踏み切った経緯がある。よって、現状のシステムを中心に考えながら、同時に多方面から検証を行い、今後の地域公共交通のあり方を議論することが必要である。







東海第二原発 津波による引き波で  
炉心溶融のような重大事故のおそれは

日本共産党 川崎 篤子 議員

議員 2月末、チリ地震による津波が原発立地地域に押し寄せました。

引き波によって、原子炉を冷却する海水が取水できなくなる危険性がありました。貯水槽に一定量の水があるとはいえ、原子炉の冷却ができなければ、炉心溶融のような重大事故につながるおそれがあります。

「東海第二原発はどうなっているのか」と心配の声が寄せられました。村の認識はどうかお尋ねします。

経済環境部長 緊急冷却非常用ポン



豊岡海岸から見た東海第二原発

プは4台、2系統の取水口が設置されています。今回の定期検査で取水口を、1・21メートル延長し5・12メートルまで下げる改良工事を行っています。もしどちらか1系統に不具合が起きた場合でも、別の系統で補う設計になっています。村は、今後とも住民の安心が得られるよう、対応をお願いしていきたい。

議員 炉心溶融の温度は何度でしょうか。原電が、対策を講じたから大丈夫と言い切れるものではありません。津波の押し引きが繰り返され、砂がたまつて、取水が本場に機能するののかということも起こり得ます。

今回のチリ地震の経験に立って、国の安全審査に基づく様々な想定による災害対策が必要です。村はどう考えるかお伺いします。

経済環境部長 燃料棒が溶け出す温度は約2800度と聞いています。村は、国の安全審査基準を遵守し、過去の例、様々な場合を想定して安全基準対策を講じるよう、指導していく姿勢を持たなければならぬと考えます。



放射線障害防止法改正が  
もたらすもの

無党派 相沢 一正 議員

議員 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（放射線障害防止法）が改正・公布されました。これは原子炉等規制法です。取り入れられているクリアランス制度を導入するための改正です。これに伴って原子力機構が保管している放射性廃棄物の取り扱いが変わってきます。保管・管理がどのようになるのかということについて質問します。

まず、原子力機構が保管している放射性廃棄物はどこにどういふふうにして管理されてきたのか、どのぐらいたまわっているのか、この法律改正によってその放射性廃棄物、R1廃棄物の管理はどう変わるかお伺いします。

経済環境部長 クリアランス制度についてですが、この制度は原子力施設において用いた資材等についてそれに含まれる放射性物質の濃度がクリアランスレベルの人の健康への影響を無視できる放射性物質の濃度以下であることを国が確認する制度です。原子炉等規制法の規制によ

るものは原子力施設で用いたコンクリートや鋼材などがクリアランスの対象になります。今回の放射線障害防止法の改正（平成22年4月1日）で原子炉等規制法に準じたクリアランス制度を導入したことにより、放射性同位元素R1や放射線発生装置などがクリアランスの対象になりました。

これまで原子力機構ではR1廃棄物を使用施設ごとに保管庫やピットで保管しており、200リットルドラム缶換算で12万5617本になります（日本アイソトープ協会受託分も50リットル缶・100リットル缶を200リットル缶に換算）。

法改正によって原子力機構が管理保管しているR1廃棄物の扱いは、クリアランスの対象とされたものについては今後、再利用や適正処分をします。対象外のものについては原子力機構が放射性廃棄物の埋設処分の許可を受けたことから、自ら埋設処分を行う。処分方法、処分地については今後選定を進めていくと聞いている。



## 一般質問



### 農業政策

光風会 村上 孝 議員

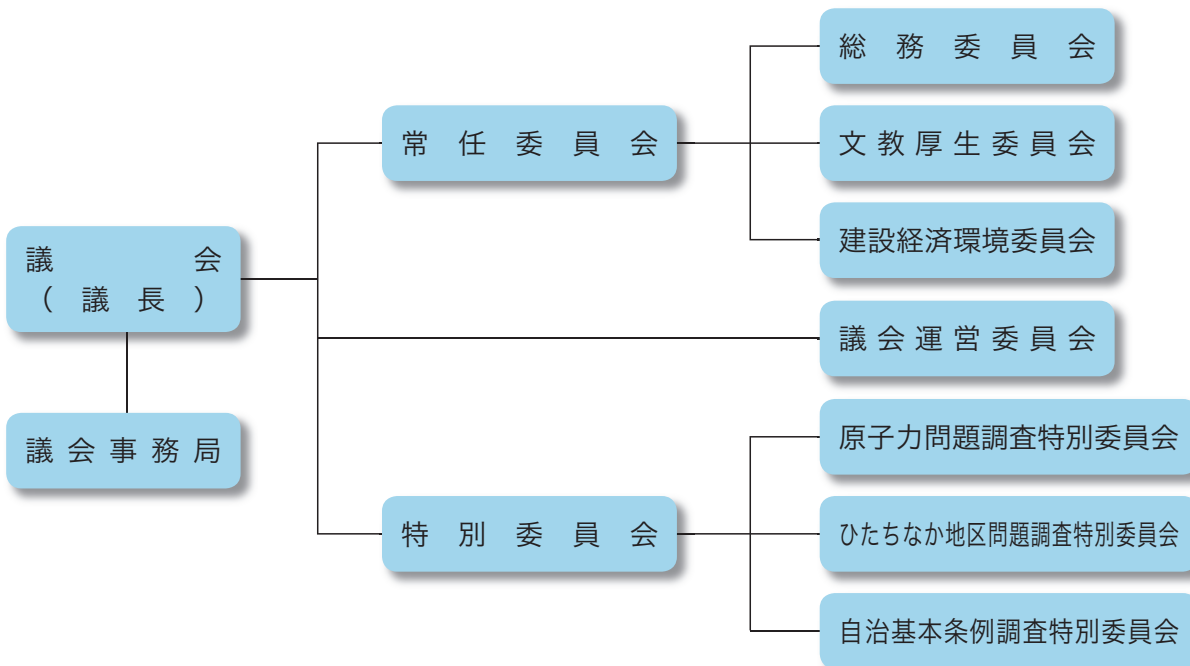
**議員** 民主党が掲げたマニフェストには戸別所得補償制度で農山漁村を再生するとある。本村の農家は既に昨年の秋から麦、レンゲの転作物に係る営農活動を既に開始している。それらに伴う東海村の取り組みについて伺います。次に六次産業いわゆる私の今まで言ってきた複合アグリビジネスであります。輪作物として相応の収入が得られる落花生栽培を広め、干し芋と同様に村の特産物として産地化してはどうかと考えるが、村としての考えを伺います。

**経済環境部長** 村による国交付金の減額部分の補てんを実施するためには、補正予算額等につきましては5月、7月に実施いたします。転作物水田の現地確認、これが終了次第本年度の村内における転作物、および転作物積等の実績が確定いたしますので、9月議会に計上したいと考えております。次に農業収入を高める取り組みとしまして、農家が農産物の生産だけでなく、加工から販売までを一体的に行い、その農産物に付

加価値をつけるという農業六次産業が有効な手段であると推奨されているところでございます。六次産業として成立している本村の特産物である干し芋の輪作物として、古くは多くの農家が生産していた落花生栽培、これを復活させ、干し芋と同様に落花生を本村の特産物として産地化したいとの件につきましては、貴重なご提案として受け止めているところでございますので、村としての支援策等について今後検討してまいります。

**議員** 国土保全、自然環境保全、景観維持、さらに地域社会を維持する農業の多面的機能は、農業が持続的に営まれて初めて発揮されるものである。農業経営が魅力的であるという将来展望がなければ、後継者も育たない。持続可能な農業生産を保証し、健全な地域社会を守るには、農家に安心して生産活動を続けてもらえる所得を補償する直接支払い制度を導入するしかないと思います。これによって本村の農業一本柱が成り立つのではないのでしょうか。

## 議会構成



# 委員会

◎委員長 ◇副委員長

## 1 常任委員会（任期2年）

委員会名	定数	所属議員名	所管事項
総務委員会	6人	◎大内 則夫 ◇河野 健一 坏 常美 豊島 寛一 村上 邦男 村上 孝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務部の所管に属する事項</li> <li>・企画政策部の所管に属する事項</li> <li>・会計課の所管に属する事項</li> <li>・消防本部の所管に属する事項</li> <li>・議会事務局の所管に属する事項</li> <li>・他の委員会の所管に属さない事項</li> </ul>
文教厚生委員会	7人	◎舛井 文夫 ◇越智 辰哉 高橋 昭 鈴木 昇 大名美恵子 江田 五六 岡崎 悟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉部の所管に属する事項</li> <li>・教育委員会の所管に属する事項</li> </ul>
建設経済環境委員会	7人	◎土尻 滋 ◇相沢 一正 猫塚 豊治 井坂 成子 飛田 静幸 川崎 篤子 恵利 いつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済環境部の所管に属する事項</li> <li>・建設水道部の所管に属する事項</li> <li>・農業委員会の所管に属する事項</li> </ul>

## 2 議会運営委員会（任期2年）

委員会名	定数	所属議員名	所掌事項
議会運営委員会	9人	◎坏 常美 ◇猫塚 豊治 高橋 昭 大名美恵子 村上 邦男 大内 則夫 江田 五六 恵利 いつ 岡崎 悟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の運営に関する事項</li> <li>・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項</li> <li>・議長の諮問に関する事項</li> </ul>

## 3 特別委員会

委員会名	定数	所属議員名	目的
原子力問題調査特別委員会	10人	◎村上 邦男 ◇土尻 滋 坏 常美 猫塚 豊治 井坂 成子 大名美恵子 舛井 文夫 大内 則夫 越智 辰哉 河野 健一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民の安心・安全確保および施設周辺の環境保全確保に対する調査</li> </ul>
ひたちなか地区問題調査特別委員会	9人	◎高橋 昭 ◇相沢 一正 鈴木 昇 豊島 寛一 村上 孝 江田 五六 川崎 篤子 恵利 いつ 岡崎 悟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひたちなか地区を中心とした周辺地域の整備課題に対する調査</li> </ul>
自治基本条例調査特別委員会	10人	◎猫塚 豊治 ◇坏 常美 高橋 昭 井坂 成子 豊島 寛一 村上 邦男 江田 五六 川崎 篤子 越智 辰哉 河野 健一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例の調査および検討</li> </ul>

○このほかに3月定例議会には予算特別委員会、9月定例議会には決算特別委員会が設置されます。

# 議会運営

- 定足数の原則** 議員定数20人の半数（10人）以上の議員が出席すれば会議を開くことができます。
- 定例会** 3・6・9・12月に開催します。会議時間は、午前10時から午後5時までとし、必要がある場合は延長して行います。  
3月は予算、9月は決算が含まれます。
- 臨時会** 必要のある場合に開催します。（執行部側と議会側から請求できます）
- 議案** 議会の議決を必要とするものです。村長・議員双方から議会に上程することができます。
- 本会議** 議場に執行部側と議員全員が集まり、議長進行のもとに、議案（条例制定・改廃、契約締結、予算、決算、その他）を上程、趣旨説明し、議案等を審議、意見や質問・討論等を行い、議会の最終意思決定をし、上程議案について決議を行う最も重要な会議です。

## 定例議会の流れ

### 議会招集

村長が議会を招集します。（告示）

### 議会運営委員会の開催

開会3日前に開催します。  
本会議の会期・日程・提出された請願等の協議  
議案書の配布

### 開会

会期の決定  
村長が議案を上程・説明します。  
提出された請願を所管委員会に付託します。  
代表・一般質問通告書の提出

### 代表・一般質問

質問通告書により村政全般について質問します。  
会派代表質問は3月定例議会のみ、一般質問はすべての定例議会ごとに行います。  
村長・副村長・教育長および所管部長等が答弁します。

### 議案審議

議案質疑：上程された議案に質疑します。  
常任・特別委員会委員長報告  
賛成・反対討論  
採決

### 閉会



# 会 派 別 構 成

○は、会派代表者

会 派 名	議 員 名
みらいの会	○猫塚 豊治 高橋 昭 鈴木 昇 飛田 静幸 村上 邦男 舛井 文夫
新和とうかい	○坏 常美 大内 則夫 土尻 滋 越智 辰哉 河野 健一
光風会	○江田 五六 豊島 寛一 村上 孝 恵利 いっ
公明党	○井坂 成子 岡崎 悟
日本共産党	○大名 美恵子 川崎 篤子
無会派	相沢 一正

## 9月定例議会日程(予定)のお知らせ

日 程	時 間	内 容	日 程	時 間	内 容
8月31日(火)	午前10時～	開会	9月14日(火)	午前 9時～	決算特別委員会
9月 7日(火)	午前10時～	一般質問	9月15日(水)	午前 9時～	決算特別委員会
9月 8日(水)	午前10時～	一般質問	9月17日(金)	午前10時～	決算特別委員会
9月 9日(木)	午前10時～	一般質問	9月22日(水)	午前10時～	議案審議
9月13日(月)	午前 9時～	決算特別委員会			

※日程は変更になる場合があります。

※本会議は、議会棟2階の議会事務局窓口で「傍聴人受付簿」に住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。また、村内各コミュニティセンターや総合福祉センター「絆」でもご覧になれます。

## 編集後記

今回、東海村議会において「東海村 議会だより」を創刊することとなりました。昨年度、広報発行に向けた研修会を全議員で開催、他市町村の議会報等を研究し、今年度「議会報編集委員会」が組織されました。

私自身、編集中に体調を崩してしまいましたが、こうして発行できましてほっとしているところでもあります。

今回は創刊号ですので、6月議会での一般質問や議案審議の結果に加え、議会の基本的な構成、各委員会等を掲載しました。今後、年4回、議会終了後に村議会の様子を分かりやすくお伝えしたいと思っておりますので、ぜひお手にとってご覧ください。(N.S.)

議会報編集委員会

委員長

副委員長

委員

舛井 文夫 鈴木 昇  
川崎 篤子 大内 則夫  
越智 辰哉 恵利 いっ